

2 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

※ 「1 自己評価及び外部評価結果」を評価機関から受領した時点で、3「サービス評価の実施と活用状況(振り返り)」と併せて作成します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	44	半数以上の入居者様が便秘傾向で下剤などを使用している。腹圧がかけられず下剤に頼っている入居者もいる。	下剤に頼り過ぎずに定期的な排便コントロールをめざす。	食物繊維の食品を摂ってもらい排便チェックし、個人に合わせた便秘予防をおこなう。個人の排便傾向を探り食事内容を考えていく。	6ヶ月
2	27	記録の書き方が統一されていない。	モニタリングを意識した記録をする。気づきや工夫を含めた記録の記入、簡潔で分かり易い記録にする。	記録についてのミーティングを行っていき簡潔で分かり易い記録に取り組む。モニタリングでは実現可能な目標を立て、日々確認し、実行していく。	6ヶ月
3	40	調理作業になかなか参加できていない。	調理の行程に参加してもらう機会をふやし、入居者と職員と一緒に食事を作る。	皆で調理をする日を決め、鍋料理やホットプレート料理など入居者の目の前で調理する機会を作る。	6ヶ月
4	4	運営推進会議が現状の事業所の報告が主体となっている。	地域や行政と更なる関係を深めるような取り組みを行う。	事業所の活動を地域の方々に知ってもらうように、行政との関係を利用したり、法人の広報誌やホームページを利用し取り組んでいく。	12ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。なお、挿入した際は、印字状態を必ず確認して下さい。